

全日本バレーボール小学生大会男女混合の部について

1. 背景

少子化、スポーツニーズの多様化、指導者不足、価値観の変化等々、様々な要因で近年のバレーボール人口の減少は著しいものがあります。

小学生の登録人数も、ここ数年、男子は現状を維持しているものの、女子においては3,000人ずつ減少してきております。

全国的には、人数が6人に満たないため試合に出られないチームも出てきている現状があります。

バレーボール人口減少に歯止めをかけ、多くの子どもたちがバレーボールに親しむための対策が急務であると考えます。

2. 男女混合の部実施の目的

- 様々な形を工夫することによって、多くの子どもたちがバレーボールを楽しむことができるようにする。
- 全国大会に出場する機会を広げることにより、バレーボールへの関心・意欲を高め、小学生バレーボールの発展に努める。

3. 実施要領(別紙)

(参考資料) 男女混合チームの参加事例

4. 実施に向けた流れ(案)

- 25年3/20 評議員会 混合の部実施要領の提案
- 4/20 全国審判研修会 混合ルールの確認
- 7月初 エキシビジョン参加チームの推薦(関東1都7県)
- 8/14 第33回全国大会 エキシビジョンの実施(東京体育館)
- 8月～2月 最終実施にむけての検討・調整(修正点があるか)
- 26年3/21 評議員会 大会要項提示
- 4月中全国審判研修会 混合ルールの周知
- 5～7初 各都道府県予選実施(男子・女子・混合大会)
- 8月中 第34回全国大会実施(男子・女子・混合大会)